

大切な命を守るために地震に備えた 家具の配置換えや転倒防止対策を！

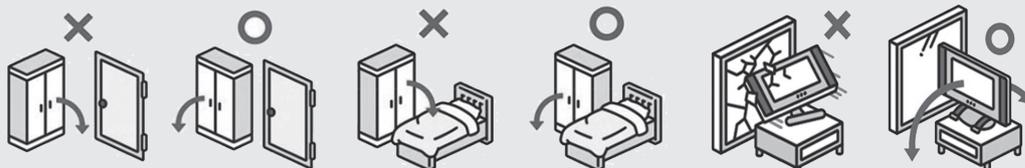
防災・減災について考えよう vol.1

問 危機管理室 (☎ 62-3145)

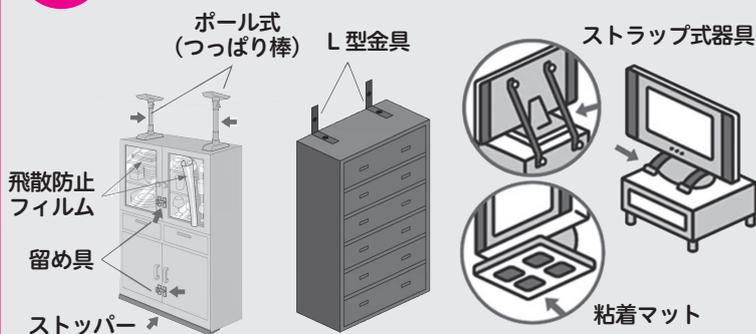
阪神・淡路大震災では、6,400人を超える人が亡くなりました。震災時、建物の中でけがをした人の約半数(46%)は家具の転倒、落下が原因だったという調査結果があります。これにガラスの飛散によってけがを負った人(29%)を加えると、実に4分の3の人たちが家具やガラスでけがをしたことになります。つまり、家具をしっかりと留めて、ガラスの飛散防止対策を施せば、震災時に多くの人はけがから身を守ることができます。

1 家具の配置を見直しましょう！

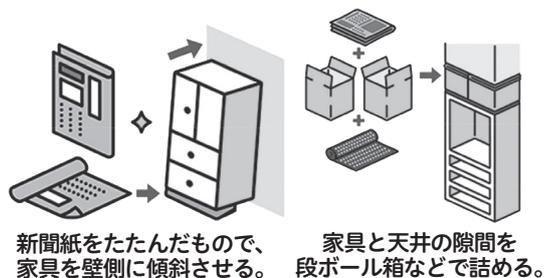
家具の向きを変える



2 家具の固定をしましょう！



できることから始めましょう！
お金をかけないこんな方法も



ストッパー式器具の代わりに、新聞紙などを折り畳んで敷き、家具を壁側に少し傾斜させます。次にポール式器具の代わりに、ダンボール箱を家具と天井との間に詰め込みます(空箱でもよい)。隙間は完全にならなくても、2、3センチ程度であれば問題ありません。上部には新聞紙などを、下部には滑り止めマットを敷き、ほぼ隙間がなくなれば大丈夫です。見た目は多少不細工ですが、これならほとんどお金を掛けずに、一定の効果が得られます。